

2020年度前期 連続テレビ小説『エール』で主人公のモデル

福島市名誉市民第1号

昭和の音楽史を代表する
福島市の大作曲家

古関裕而 特集

～古関裕而の足跡を辿る～

古関裕而 ゆかりの地 ～各地に息づく古関メロディーを求めてゆかりの地を巡ってみたいか～

1 福島市古関裕而記念館 (福島市入江町)



地元福島市大町の出身で福島市名誉市民第1号である大作曲家、古関裕而の業績を称え、後世にその業績と「古関メロディー」を広く継承していくこと、また音楽文化の振興に資するため、市制80周年記念事業として昭和63年11月12日にオープンしました。この施設の外観は、名曲「とんがり帽子」を連想させる建物になっています。(福島市古関裕而記念館ホームページより一部転載)

2 古関裕而生誕の地 記念碑 (福島市大町)



古関裕而の生家「喜多三(きたさん)呉服店」跡地(SMBC日興証券福島支店前)。平成10年5月に、レンガ通り道路整備完成を記念して、福島市大町に「誕生の地」記念碑が建てられました。午前9時・正午・午後3時の3回、「さくらんぼ大将」「とんがり帽子」「阿武隈の歌」が流れます。(福島市役所ホームページより転載)

3 古関裕而生誕100年記念モニュメント (JR福島駅東口)



古関裕而生誕100年を記念して福島駅東口にモニュメントが設置されました。モニュメントは、朝8時～20時まで1時間ごとに古関メロディーが流れます。福島駅の新幹線、在来線の発車ベルも古関裕而メロディーとなっています。

4 JR福島駅西口駅前広場モニュメント (JR福島駅西口)



昭和57年に設置された西口駅前モニュメントですが、古関裕而誕生100年を記念して、平成21年8月11日より古関メロディーが時報として流れています。(福島市役所ホームページより転載)

5 平和通り時計塔 (国道13号平和通り中央分岐帯)



建設省福島工事事務所(現国土交通省福島河川国道事務所)の創立60周年に合わせ、昭和55年に設置されました。平和を祈る合掌した人の手のデザインのため、「合掌の碑」とも呼ばれています。「福島夜曲」のオルゴールが1日5回、午前8時、正午、午後3時、午後5時、午後9時に流れます。(福島市役所ホームページより転載)

6 ポケットパーク (福島市本町)



平和通りとパセオ通りの交差点付近に、平和通り時計塔の復元を記念して、平成19年に国土交通省河川国道事務所により、整備されました。「福島夜曲」「さくらんぼ大将」「高原列車は行く」がいつでも聞けるメロディーボックスが設置されています。(福島市役所ホームページより転載)

あなたが選んだ **古関メロディーベスト30**
2020年 **4/29水** CD発売決定!!

福島民報社が中心となり、古関裕而が作曲した110曲のリストの中から、ネットやハガキ、FAXでベスト30を決める人気投票が2019年12月10日から2020年2月7日まで行われました。その投票結果をもとに、上位曲を収録した2枚組のCDです。

全国のCDショップ・オンラインにて、また、日本コロムビアWEBサイトからも購入できます。



古関メロディー特設サイトはコチラ ※投票は終了しております

古関裕而プロフィール

古関裕而(本名、古関勇治)は、明治42(1909)年福島市大町に生まれ、昭和5(1930)年9月に日本コロムビア(株)に作曲家として入社。以来、作曲活動を継続し、戦前においては「露営の歌」(昭和12:1937)、「暁に祈る」(昭和15:1940)等の歴史的作品を残したほか、戦後の荒廃した社会の中にあつては「とんがり帽子」「長崎の鐘」等未来へ希望を抱かせる明るい歌謡作品を発表し多くの人に愛唱されています。さらに、菊田一夫氏とのコンビで昭和22(1947)年以降は放送作品に力をそそぎ、NHKラジオドラマ「鐘の鳴る丘」「さくらんぼ大将」「君の名は」等の主題歌を発表し一世を風靡したことはあまりにも有名です。こうした数々の放送関係における業績により同28(1953)年NHK放送文化賞を受賞しました。また、昭和39(1964)年アジアで初めて開催された東京オリンピックの選手入場行進曲「オリンピック・マーチ」を作曲しました。作曲作品総数は、5,000曲にもおよび、スポーツ・ラジオドラマ・歌謡曲・演劇・校歌・社歌等、多岐にわたっています。こうした一連の功績によって昭和44(1969)年には紫綬褒章を受章しています。また、昭和54(1979)年4月には福島市名誉市民第一号となり、その功績と栄誉をたたえられています。(福島市古関裕而記念館ホームページより転載)



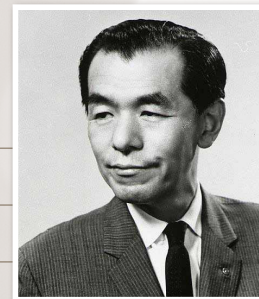
古関裕而・妻 金子の年表

古関裕而氏のできごと

| | | |
|---|---|-------------|
| 8月11日、福島県福島市大町に生まれる。生家は呉服屋「喜多三(きたさん)」。 | 1909 (明治42) | |
| 5歳 | このころ父親が蓄音機を購入。レコードを聴きながら育つ。 | 1914 (明治45) |
| 小学3年から6年まで担任遠藤喜美治先生に唱歌とつづり方(旧制小学校の教科、現在の作文)を習う。 | 福島県師範附属小学校(現:福島大学附属小学校)入学。 | 1916 (明治47) |
| 10歳 | 卓上ピアノで作曲を始める。 | 1919 (明治48) |
| 15歳 | 福島市新町70番地に転居。 | 1924 (明治49) |
| 20歳 | 舞踏組曲「竹取物語」ほか4曲をイギリスロンドンのチェスター音楽出版社募集の国際作曲コンクールに応募し、二等に入選。 | 1929 (昭和4) |
| 25歳 | 「船頭可愛や」初のヒット曲となる。 | 1935 (昭和10) |
| 30歳 | 「暁に祈る」作曲。 | 1940 (昭和15) |

古関金子氏のできごと

| | | |
|--|---|-------------|
| 3月6日、愛知県豊橋市に生まれる。父は陸軍獣医部、退職後は軍納入の御用商人。 | 1941 (昭和16) | |
| 35歳 | インパール作戦特別報道班員となる。母死去。 | 1942 (昭和17) |
| 40歳 | 「長崎の鐘」作曲。 | 1949 (昭和24) |
| 40歳 | 「イヨマンテの夜」作曲。 | 1950 (昭和25) |
| 40歳 | 4月、NHK連続ラジオドラマ「君の名は」放送開始(29年4月まで放送)。主題歌「君の名は」作曲。NHK放送文化賞受賞。 | 1952 (昭和27) |
| 55歳 | 「忘却の花びら」がNHK連続ラジオドラマの最後となり、この後は菊田一夫とともに舞台活動へと転進する。胃潰瘍手術をする。 | 1956 (昭和31) |
| 60歳 | 紫綬褒章受章。 | 1969 (昭和44) |
| 70歳 | 福島市名誉市民となる。勳三等瑞宝章受章。レコード大賞特別賞受賞。 | 1979 (昭和54) |
| 80歳 | 8月18日、死去。 | 1989 (昭和64) |



30歳

35歳

40歳

40歳

64歳

68歳

福島県が舞台
3月30日(月)～9月26日(土)
【総合】(月～土)午前8時 (再)午後0時45分 ほか
※土曜日は1週間を振り返ります

主演/窪田正孝 ヒロイン/二階堂ふみ

心に届け 君への応援歌!

福島出身の作曲家・古関裕而氏とその妻・金子氏をモデルとした連続テレビ小説「エール」。主人公・古山裕一(窪田正孝)、裕一の妻となるヒロイン・関内音(二階堂ふみ)は、福島、そして愛知に生まれ、遠い距離を乗り越えて愛を育んでいきます。

番組の最後に紹介する **福島ゆかりの写真 大募集!**



期限 8月28日まで **テーマ** 福島または愛知 人 食 自然 伝統
新しいチャレンジ...なんでもOK!

地域の魅力にあふれる素敵な写真とエピソードなどをホームページから投稿してください。
投稿方法 専用ホームページ <https://www.nhk.or.jp/archives/creative/yell/>

